

別紙 1-1

論文審査の結果の要旨および担当者

報告番号	※	甲	第	号
------	---	---	---	---

氏 名 JIGJIDSUREN Altantuya

論 文 題 目

Free and universal access to primary healthcare in Mongolia: the service availability and readiness assessment

(無料且つ誰でも利用可能なモンゴルの一次医療：医療提供の利用可能性と準備の評価)

論文審査担当者

名古屋大学教授

主 査 委員

若 井 建 志 

名古屋大学教授

委員

錦 織 宏 

名古屋大学教授

委員

粕 谷 英 樹 

名古屋大学教授

指導教授

濱 嶋 信 之 

論文審査の結果の要旨

別紙1-2

今回、一次医療を無料且つ誰でも利用可能とするモンゴルの政策について研究を行った。2017年に首都ウランバートルからチンゲルテイ地区とハーンウル地区を選択し、両地区に存在する全146医療施設について医療提供の利用可能性と準備の評価を行った。評価方法には、The service availability and readiness assessment (SARA)を用いた。基礎的な医療を提供する能力はファミリーヘルスセンター (FHC) で61.5%、私立診療所で36.3%、病院で62.4%であった。個別の一次医療を提供する能力を示す評価指標 (specific service availability score) は全医療施設平均では19.8%と低値であったが、FHCでは69.5%と高かった。診断能力、及び、必須医薬品の準備が一次医療を提供する上で解決すべき問題だと考えられた。





本研究に対し、以下の点を議論した。

1. 研究対象となる全ての医療施設を訪問し、定量的な方法と定性的な方法を用いて評価を行った。医療資源や装置については、その存在だけでなく、適正に動作する事も確認した。また、トレーニングの実施やガイドラインの遵守については、主要な職員との面接を通して確認を行った。
2. モンゴルは全ての住民がいかなる場所でも無料で一次医療を受けられることを政策上掲げているものの、実際は地域の行政がFHCを通してのみ、一次医療を提供している。私立診療所と病院は一次医療の提供を行政側からは期待されていない。本研究で示された様に、病院は一次医療を提供する能力を示す評価指標が56.7%とFHCに次いで高い。FHCで提供できない一次医療も数多くあるため、実際は紹介状無しで病院を訪問し一次医療を受ける例がある。病院で医療を受けるためには長い順番待ちが必要である。一次医療のFHCへの十分な集約が進んでいないことが、医療システム全体の非効率化を招いている。私立診療所は一次医療を提供する契約を行政とは結んでおらず、本研究で得られた結果では、一次医療提供の能力を示す評価指標が4.1%と低値であった。
3. FHCでは提供不可能な医療が未だ多くある。例として、基本的な手術が行えるFHCは0%であった。一次医療レベルで治療可能な外傷であっても、FHCで治療は行えないため外傷専門病院を受診する事が実情である。FHCにおける一次医療を充実させ、病院が専門治療に専念できるように負担を軽減する必要があるが、このための政策はとられていない。

本研究は、モンゴルの一次医療を充実させる上で、重要な知見を提供した。

以上の理由により、本研究は博士(医学)の学位を授与するに相応しい価値を有するものと評価した。

試験の結果の要旨および担当者

報告番号	※ 甲 第	号	氏 名	JIGJIDSUREN Altantuya
試験担当者	主査  副査 ₁  副査 ₂  指導教授 			
(試験の結果の要旨)				
<p>主論文についてその内容を詳細に検討し、次の問題について試験を実施した。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 研究方法について 2. 一次医療における各医療施設の役割について 3. 一次医療で提供されることが必要な医療について <p>以上の試験の結果、本人は深い学識と判断力ならびに考察力を有するとともに、医療行政学一般における知識も十分具備していることを認め、学位審査委員合議の上、合格と判断した。</p>				